（第三種郵便物認可 大正八年三月七日）　昭和十三年八月九日　THE IWAKIJIHO　（火曜日）　（第七千二百八十三號）（一）

夕刊 岩城時報

八日 日

一部金貳錢　一ヶ月金卅錢
廣告料一行十二字詰五十錢
日刊（日曜祝祭日）翌日休刊

發行所 磐城時報社
印刷所 加納活版所
印刷人 岡田弘成
編輯兼發行人 岡田弘成

東北庭球大會で 磐女校優勝

決勝戰は同志打ち

磐城高女校庭球部では七日仙臺市仙鐵コートで擧行された東北軟球協會主催東北中等校女子庭球大會に三組は十二日平第三校に開き軍參加したが成績左の如く榮事援護の徹底と非常時經濟えある優勝カップを獲得した。に對する協力、その他銃後△准決勝　對策を協議する。

磐（渡邊）女（千葉）4―2 磐（渡邊）女（端山）
磐（千葉）女（木村）4―1 山形（原田）第二（山田）

△決勝戰

磐（渡邊）女（千葉）4―2 磐（千葉）女（木村）

方面委員會 銃後對策協議

平方面委員時局對策協議會

出征兵遺族 舊盆で慰問

小名濱町では七日同町出征軍人遺家族に對し舊盆慰問として一名五圓以上合計七百五十圓を贈つた。

天井を知らぬ奔騰 平地方野菜の價格

例年より七割高

平地方の野菜は過般の水害以來高騰を續けてゐたが、最近品不足に一層値上りとなり七日平青果組合の取引價格は左の如く平年より七割の高値で玉菜は殆んど全滅、西瓜は茨城縣鹿島産が出廻り出したが一貫匁三十錢から四十錢の高値である

△茄子百箇五十五錢―七十錢△丸茄子同一二〇―一五〇△カボチヤ一貫匁二十五錢―三十錢△胡瓜百本五〇―二五△玉葱一〇貫匁一圓五十錢―一八〇△馬鈴薯一〇貫匁一四〇―二〇〇△トマト一貫匁三〇―四〇△人參一貫匁四〇―四五△牛蒡一貫匁五〇―六〇

金歯抜取り事件 十三日實地檢証

平市營火葬場隱亡正木とり灰の中から熔けた金を拾つた（四三）の金歯抜取り及び贓たといふ事實を反駁し、平物故買の孫振漢兩名の公判署菊地部長刑事はとりの息は六日午前十時から平區淺子の陳述によつて火葬場を野判事、大脇檢事係りで開訪ねた結果鳥小屋の臺の上廷、鍵を納めた釜屋商店員に合鍵が隱してあり、とり鹽澤友吉を調べた後市役所も合鍵使用を認めたと陳述衛生係松田賢雄、渡邊佐七した。來る十三日實地檢證兩名を訊問、松田は鍵は市を行ひとりの息子も調べる役所に保管の內規もなけれ事になつた。ば自分も預つた事はないと述べ、渡邊は本年六月二十二日迄の合鍵は市役所で預町行政區長會は三日午後一つてゐたと被告に有利な證時より役場內に開き時局柄言をなし、鑑定人中野惠次經濟に關する申合せをなし氏は金冠が灰の中で熔ける即時實行をなすことになつ事はないと思ふと、とりがた。

▲四倉區長會

四倉

産馬組合長 安島氏再選

石城郡産馬組合では七日午前十時から總會を開き役員改選の結果會長に安島重三郎氏再選した。

時代の寵兒 スフ展覽會

なかや洋服店で

平市三丁目なかや洋服店では店舗改裝記念として戰時體制下の花形綿製品の代用品であるステープルファイバーに關する智識普及の爲め日東紡績株式會社及日本ステープル協會の後援により該品の製產過程の圖解、原毛混紡織物、全スフ織物等の參考品を多數店內に陳列し八月九日（舊十四日）より三日間一般顧客の觀覽に供する由。

桃品評會

出品百六点

平果樹組合の水密桃品評會は七日午前十時平市藤田女學校に開催したが出品百六點、神谷農試分場梅谷技師審査の結果左の如し

【一等】岡部清喜、根本武久、薄葉庄憲、薄葉美雄、【二等】國府田忠男、薄葉清右衛門、白土浩康、根本喜一、根本茂、根本ヲ子、【三等】薄葉マサヲ、薄葉喜藏、高橋正惠、林藤太郎、金成清、根本百子、高橋茂惠、草野カツコ、根本守由、石井富吉、根本武久

日歸り臨海學校

平第一小學校（第二信）

僕らの樂しい臨海學校の三日目、ひさしぶりでお日樣が出た。今日はうんと泳げるぞ。みんなは、はちきれさうな元氣で先生の後から汽車に乘つた。汽車は朝の空氣を一ぱいうけてまつしぐらにはしつた。僕は軍用列車に乘つて敵地に向つて行くやうな氣がした。汽車から下りて元氣よく歩いて行くと何時の間にか新舞子に着いた。涼しい中に勉强をして、おいしい牛乳をいただいた。それから僕等の先生の力强いかけ聲でラヂオ體操をして舟で向ふ岸に行つた、たれかが敵前渡河だといつた。今日は先生がの中はいくらばちやくやなく九月末頃まで續くでうう。同漁が最近若干の獲を見せては來たが向後に大なる望みも置かれず寒流に頑張られた海の異狀にして水試專屬磐城丸は去る三日小名濱を出港鹽屋崎沖を中心として南北一千海里の觀測を海軍水路部の所屬を拾得屆出でたが間もなく船と共に行はれるもの、如渡邊村田部字渡部自轉車店箱崎甚平さん（三三）が飛び込んで來て狸を賣つた金を磐東銀行に預金に來る途中遺失したと屆出武君に十二圓の謝禮をした。

中野淸平氏 六日長逝

平市田町中野惠次氏嚴父中野浩忠氏は久しく病氣中處六日午後一時死去した。氏は神谷村大字鹽に生れ平消防組頭井上茂作氏の實兒で七十九歲、靑年時代官界に仕へたが後政界に入り縣會議員、政友會支部幹事長等を勤め神谷村長として地方自治開發に努力した實業界方面では磐城海岸軌道社長その他重役も勤めてゐた

▲坂田翁逝く

平市二丁目茗荷屋金物店主坂田藤助翁は腦充血のため七日午後九時死去した、六十四歲、葬儀は來る十三日舊盆あけを待つて執行する

狸を賣つた 百三十圓遺失

植田町字後宿役場書記古川武太郎長男武（十二）君は六日朝九時頃植田署前で現金百三十二圓在中の蟇口一個を拾得屆出でたが間もなく箱崎甚平さん（三三）が飛び込んで來て狸を賣つた金を磐東銀行に預金に來る途中遺失したと屆出武君に十二圓の謝禮をした。

四倉海岸から

第一校臨海學校通信

甲種臨海學校便り（終稿）

夕燒小燒は
田んぼ中
汽車は平へ
走ります
線の稻の
其の上に
うつるは長い
かげぼうし
向ふの森と
電柱と
僕等をのせた
長い汽車
待ちに待つてた臨海も
每日雨にこめられて
天氣待ち〳〵暮れました
七日目やつと晴れたのに
都合で遂に今日六時
汽車は平へ走ります
波と遊んだあの渚

冷えた身體を横たへて
あの砂原よあの道よ
みんな樂しい思ひ出よ
黑く日燒けた此の身體
非常時銃後の此の身體
六日目の八月五日の夕食
の時校長先生から臨海學
校は明日で終るとのお話
があつた。其の理由の第
一番は每日の雨ですつか
り臨海に飽きて了つた人
が多く家へ歸りたくなつ
た人が多い事。第二番。
四倉の生徒の中にパラチブスが出來て學校を消毒しなくてならなくなつた事。第三番に臨海のお友達の中にもお腹を惡くした人が四五人出來た事であつた。

いよ〳〵歸へる七日目皮肉にも空は一面に晴れ渡つて絕好の海水日和だ。氣持よい朝、せい〳〵した氣持で海岸でのラヂオ體操を終り砂遊びをする朝會後の自由時間、僕達はもう海へ出たくてむずく〳〵する。午前波遊びをする。八月になつて初めての晴天なので濱は大變な人出だ。藍を流した樣な海の色、空と水の間に强い日を受けて眞白く突き出た堤防砂原に咲いた花の樣なビーチパラソル。水着の色美くしい海水浴場の景色だ。晝食の後皆で荷物を纏める。終つて最後の濱遊に出かける。此の好天氣がもう二三日早ければほんとうによかつたにと思ふ。四時頃自動車が來るといふので少し早目に切り上げて歸つた。五時過ぎ一同整列して四倉小學校に別れを告げる。歸へるとなるとやはり歸へる事がとても樂しい氣持がする。六時半平驛前で一同萬歲三唱して家路についたが久し振りで歸へる樣な氣がした。

（大仲記）

ラヂオの故障は——
放送局指定相談所に
ラヂオの故障の多い季節になりました
修理は測定裝置と技術完備の弊店に

放送局指定ラヂオ相談所
HK受信機配給所
富永ラヂオ店
平駅前
電話四九六番

御引立を乞ふ
安田生命代理店
井上茂作
平市五町目
電話六六番

公債・貴金属・質物
三井質店
平市四丁目
電話六〇六番

□□□□
氷は！魚清……！！
電話四六七番へ
平二丁目警察通り
本店　魚清氷卸部
江名町築港内
支店　江名販賣所
電話六九番

新裝浴場完成!!
驚異的諸症卓効の温泉!!
而も海の味覺を満喫しつゝ深山幽谷の桃源境を探求し得る近代的理想境出現。是非々々皆々様の御清遊を御待ち致して居ります。
四倉港
鐵道省指定
鑛泉旅館
海氣館
電話五番

鮮度を誇るヒラメ鯉
目鯛　マナ鰹　帆立貝柱
甘鯛　アヂ　うに貝焼
エビ　マス
日本水産手特約(電三八・三二六番)
卸小賣
平製氷會社
販賣店
魚徳屋
四丁目五二八番
おいしい
鮮度を誇る二箱

新鮮な冷凍貝燒あります

新柄二重張
パラソル
大ノ見切
¥1.50—¥4.50
ツルヤ
電一四〇番

吸入用酸素
純度99%
モノサシ
ハカリ
マス
体温器
寒暖計

□寫眞機
材料一式
開内薬局
電話四〇番

秤ノ取緒・鍾糸・修覆致シマス
(ハカリトリヲタマイトトリカヘ)

獨特の珈琲とWME
紳士の喫茶店
ダリル・バツカス
サービス料一割(外拜辭)
平市銀座通り　TEL 720

女店員募集
▽年齢　十七歳位ヨリ廿五歳位マデ
▽月給　初給四拾圓以上漸次昇給
▽待遇　衣裳貸與金支給
▽何の氣苦勞もなく朗に働ける固定給料です
▽眞面目に働きたい方眞實な生活を望まれる方は御出下さい懇切に御指導致します

新設
産婦人科
醫學士　黒澤廣
內臟外科
エツキス光線
院長　安齋徹
入院隨意
平市田町
安齋醫院
電話四五七

二井タクシー
平市二丁目
電話六八五番

公輝院及び芳輝院の新盆に相當りますが誠に勝手乍ら時局柄提灯其の他供物等一切御贈與の儀固く御辭退申し上げます
舊七月
四倉町
吉田彌十郎

特約店　中野洋品店　平二・電五三

特許新洗劑
モノゲン
漬けて十分間
揉まずに落ちる
モノゲンは石鹸とは原料から異つて居て、脂肪酸アルコールと云ふ新原料から製造されたもので、水に溶いても中性で毛氈を洗つて生地を縮める事なく、且又人絹やステープル製品も短時間に揉まずに、白物は勿論、美しく洗へ、其上漂白しが樂で、どんな生地でも理想的に洗へる新洗濯劑です
定價　一・二〇　五〇　三五
第一工業製藥株式會社
ゲンブマルセール石鹸本舗
ゲンブ石鹸
粉末
純白、厚、織物のお洗濯に、何遍洗つても絶對に生地を傷めず、完全に汚れ垢を落し、美しく能率に仕上げ、且又その上保存を良くするのがゲンブマルセール石鹸の最大特徴です。又食器洗ひに用ひても最適です。
專賣デパート小間物店等にあり